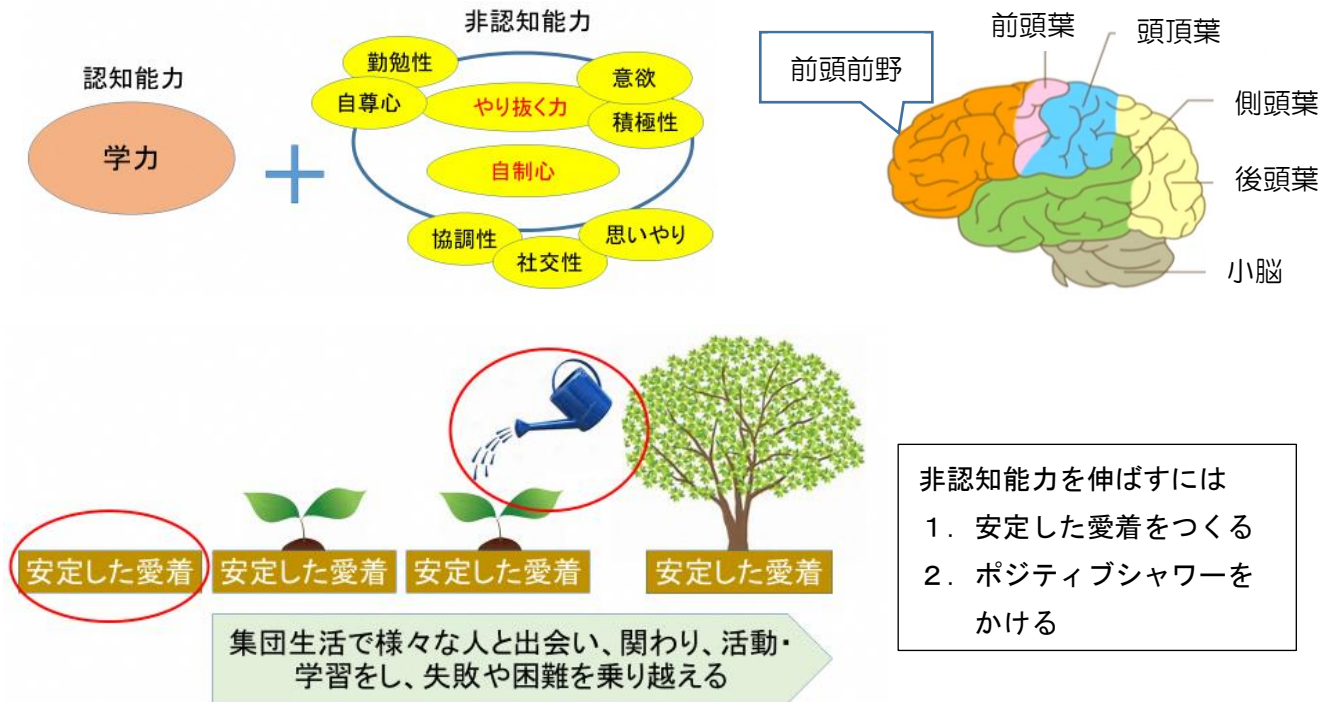


家庭で育む「非認知能力」

香川大学医学部小児科医 鈴木裕美

1. 非認知能力とは



2. 安定した愛着をつくるには



3. ポジティブシャワーをかけるには

(1) 子どもを前向きに評価する習慣をつけよう

他人（兄弟姉妹や同級生）と比べるのではなく、過去の子どもと比べましょう。

3年前、1年前、1か月前と比べて、できるようになったことは何ですか？

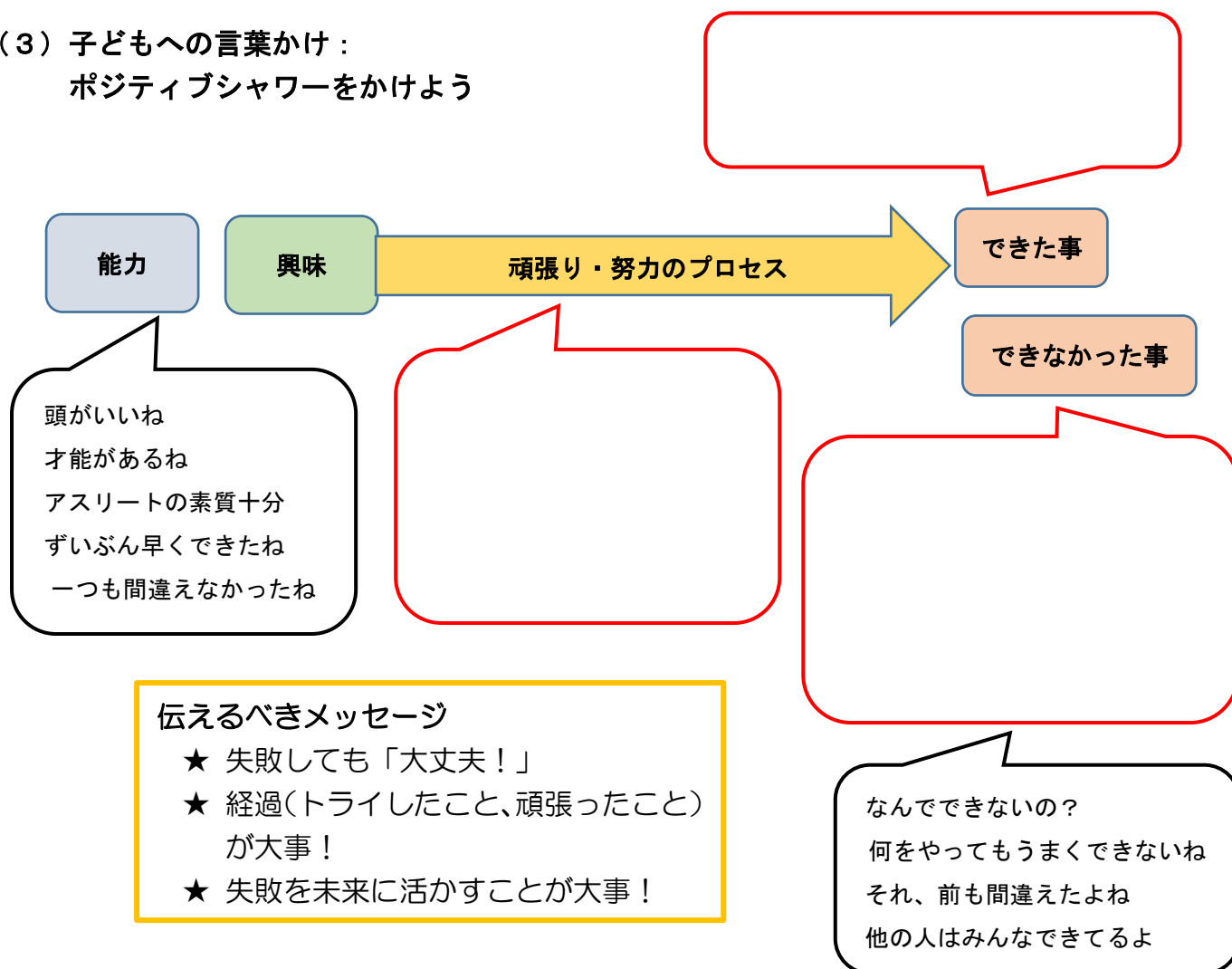
(2) 子どもに前向き成長志向を植えつける

あなたはどちらですか？子どもはどちらですか？

	前向き成長思考	後ろ向き硬直思考
態度	学んだり、練習することで自分が 成長することを楽しむ	自分が優れていることを示そうとやっきになっている、 できない人を馬鹿にする
親や教師からの言葉に対して	自分の成長を助けてくれる 失敗してもいいという 安心感	自分の能力が評価されている できる子、いい子でない と嫌われる、がっかりされる不安
間違えたり、失敗したとき	失敗の原因（間違ったやり方や練習不足）を考え、 次に生かす	自分の出来の悪さの証明になるので、恐れている 失敗してはいけないと思う
新しいことに対して	チャレンジしたい、今できなくても できるようになりたい	失敗するのが怖いので、 やらないでおく 確実にできることだけやる
失敗や試練が多いと	より努力し、より強くなる	自分は ダメな人間 だ、何をやってもダメだと落ち込み、殻に閉じこもる

前向き成長思考はチャレンジができる子、自分の背中を押せる子に育てる

(3) 子どもへの言葉かけ： ポジティブシャワーをかけよう



(4) 物事を前向きにとらえる習慣をつける

ワーク 前向きでいることを教える

- 下記の状況の時に、どのように声をかけたら前向きな気持ちになれるでしょうか。考えてみましょう。

例：雨で予定していた外出ができないとき、「代わりにおうちで一緒におやつ作りができてよかったね！」

転んで手をついて汚してしまった時 →

上手に〇〇ができなかった時 →

友だちが都合が悪くなって遊べなくなった時 →

嫌なことや辛いことがあっても、**見方を変えれば前向きになれる**ことを教えましょう。困難を乗り越える**強い心を育てる**ことができます

性格も同じです。欠点も見方によっては、長所になります。

- ゆっくりで遅い →
- 断れず、優柔不断 →
- 性格がきつい →
- 落ち着きがない、多動 →

(5) 考え方のまとめ「できないことではなく、できることを数える」

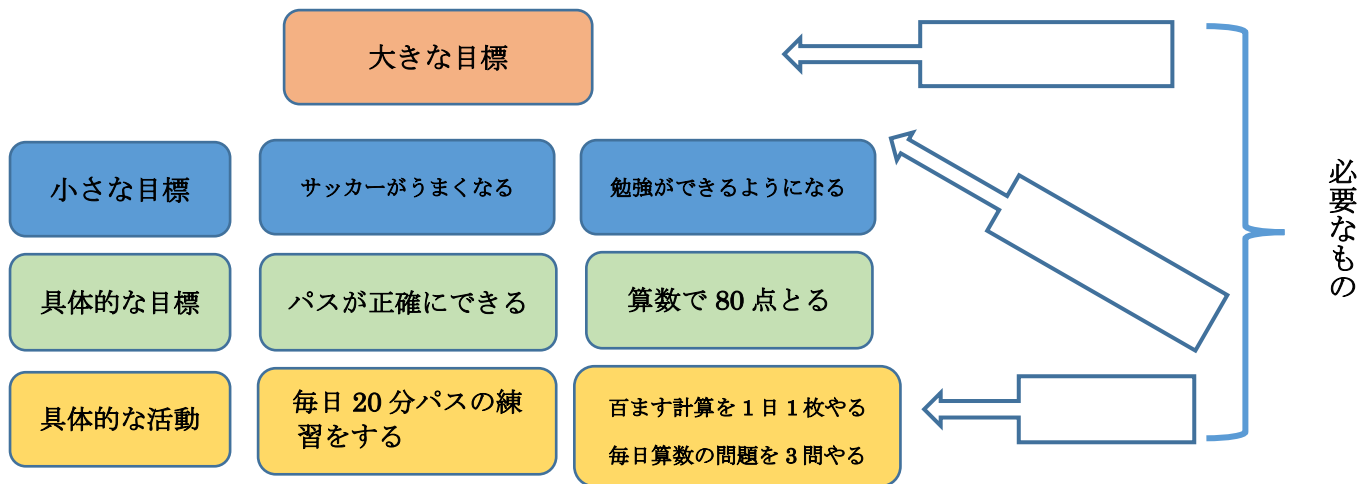
あったこと	友だちにすぐ手を出して仲良く遊べない
後ろ向きな考え方	コミュニケーション能力が低い、発達障害だからかな
前向きな考え方	友だちと関わりたい気持ちはある（いい側面） 前よりは手が出る回数が減った（前向きな評価）
成長する考え方	どうしたら仲良く遊べるようになるかな（これからどうするか） 手を出してしまうのはなぜかな 気持ちを言葉にできるかな

考えてみよう

あったこと	
後ろ向きな考え方	
前向きな考え方	
成長する考え方	

(6) これからどうするか

やり抜くためのピラミッド



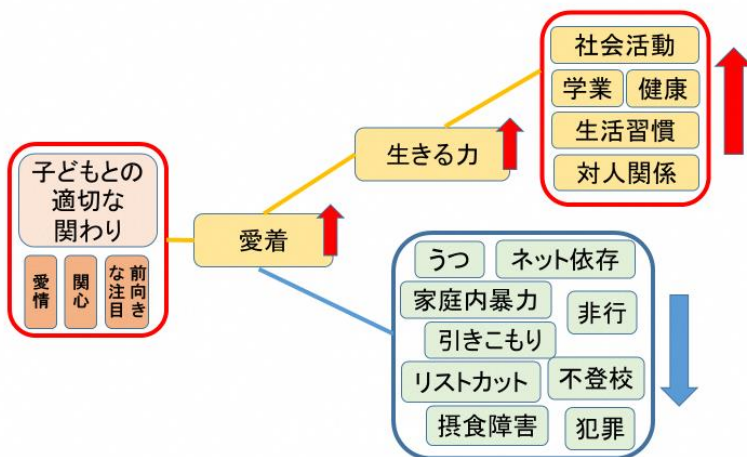
【強い興味や関心】子どもの関心ごとに関心を持つ＝好きなこと、得意なことを探す、育てる

【自制心】一貫した分かりやすいしつけ「ルールを守る」

【前向き成長思考】安心感を与える「失敗しても大丈夫」

経過に注目する「頑張ってるね」

未来に注目する「どうすればいいか一緒に考えよう」



よい関係（土台）を作り、育ちゆく木にたっぷりとポジティブシャワー（前向きな言葉かけ）を与え、折れない幹を育てましょう。今からでも遅くありません。今日からスタート！一緒に頑張りましょう